

ゼスプリのキウイは北半球産に移行

[FreshPlaza](#) 2024年11月18日

季節補完的な「ゼスプリ世界供給(ZGS)プログラム」が動き出しており、競争が激化するキウイフルーツ分野において、主要市場の主要取引先への周年供給を確保し、ゼスプリのブランドを構築し、生産者に確実に持続可能な収益を提供する同社の取り組みを助けている。今年、ゼスプリは、フランス、イタリア、ギリシャ、韓国、日本の果樹園から2,600万箱以上、すなわち9万3千トン以上のキウイフルーツを販売する予定である。

ゼスプリの北半球供給担当執行役員であるニック・キルトン氏は、ニュージーランド産サンゴールの販売終了後、ヨーロッパでZGSのシーズンが始まったとしつつ、「日本と韓国の市場も今後数週間でZGSサンゴールに移行し、米国と中国では12月に移行する予定である」と述べている。(以下「」は同氏の話)

「ゼスプリグリーンキウイについては、今シーズン、イタリアとギリシャから700万箱以上を販売する予定で、今後数週間でニュージーランド産の販売が終わり次第、それらの販売を開始する。ゼスプリブランドのキウイフルーツがニュージーランド産から北半球産に移行するに当たり、取引先や消費者に高品質でおいしいキウイフルーツを提供できることを心待ちにしている。」

「ZGSは、ニュージーランド産のシーズンが再開するまで棚のスペースを維持し、年間を通じて取引先と消費者にプレミアムなゼスプリキウイフルーツを提供するとともに、ニュージーランド及び海外の生産者の収益をサポートするという当社の取り組みにおいて重要な役割を果たしている。」ゼスプリの世界供給プログラムは約25年前に設立され、海外の約1,500人のゼスプリ生産者と協力している。

需要の増加と競争の激化に対応するため、ゼスプリは現在、ニュージーランドのキウイフルーツ生産者に対し、生産者投票を通じてZGS事業の拡大を支持するよう求めている。

投票は11月11日に開始されており、12月5日(木)の正午まで行われ、イタリア、フランス、日本、韓国、ギリシャで、6年間にわたってサンゴールキウイフルーツの栽培を毎年最大420ヘクタール追加で割り当ててくれることを支持するよう、ニュージーランド国内の生産者に求めている。その際、ゼスプリの取締役会による毎年のレビューにより需要予測が供給を上回っていることを確認するとともに、生産者に年次報告を行うことを条件としている。この提案は、広範な協議プロセスを経て、業界関係者と共同で作成された。

フィリピン 日本のアボカド市場へのアクセス拡大に成功

[FreshFruitPortal](#) 2024年11月19日

ハスアボカドの輸出が承認され、フィリピンは収益性の高い日本市場へのアクセスの拡大に成功した。これは、同国の農産物輸出の拡大における重要な節目であり、国内産農産物の品質を浮き彫りにしている。

フランシスコ・P・ティウ・ローレル・ジュニア農務長官は、「これは、農産物輸出拡大へのフィリピンの取組みと高品質な製品の証しである」と述べ、「日本に承認されたこのアクセスが、他の国際市場でもフィリピン産ハスアボカドのチャンスにつながると楽観視している」と付け加えた。

同長官はまた、この国際貿易の節目を達成するために農業省植物産業局(BPI)、東京駐在農務官事務所、及びドールスタンフィルコ社が行なった協力的な取り組みを称賛した。

ハス種は、その大きさと、熟すと黒紫色に変わるゴツゴツした果皮で好まれ、特に日本人の好みによく合う。

日本はハスアボカドの主要な輸入国であり、2023年の輸入額は1億6千万ドル(6万1千トン)で、主な供給国は、メキシコ、ペルー、オーストラリア、ニュージーランド、米国等であった。

(参考)[農林水産省告示](#)